

# 事業報告書

(自平成17年4月1日至平成18年3月31日)

## 1. 事業の概況

### (1) 平成17年度の事業概況

当財団は、住友グループ20社が現在の住友の諸事業の礎である別子銅山の開坑300年を記念して設立したもので、「人類社会の直面する諸問題の解決・改善を目的とする諸分野における研究及び事業に対し、国際的な視野をもって、時代の要請に適った助成を行い、もって人類の豊かな社会建設に資することを目的とする」助成財団として、平成3年9月25日に内閣総理大臣の設立許可を得て助成事業を開始しました。

第15期の平成17年度は、経理面では、厳しい金利情勢が期末近くまで続きましたが、一部債券の買い替えによる運用利回りの向上等により、助成事業の財源となる運用収入は前年度比3千2百万円余増加しました。助成事業については、5つの公募助成プログラムに非公募の「その他助成」を加え、助成総件数243件（前年度比6件減少）、助成金総額3億4千5百万円余（前年度比87万円余減）と、予算（3億4千5百万円）を48万円余上回る助成を行いました。

	助成件数(前年度比)	助成金額(前年度比)
(イ) 基礎科学研究助成	95件(+3件)	130,000千円(±0千円)
(ロ) 環境研究助成	50件(-12件)	100,000千円(±0千円)
(ハ) 文化財維持・修復事業助成	25件(±0件)	50,000千円(-30千円)
(ニ) 海外の文化財維持・修復事業助成	10件(+2件)	20,306千円余(+57千円余)
(ホ) アジア諸国における日本関連研究助成	58件(+1件)	40,083千円余(+2千円余)
(ヘ) その他助成	5件(±0件)	5,100千円(-900千円)
合計	243件(-6件)	345,489千円余(-871千円余)

### (2) 経理の状況

景気は着実な回復基調が続きましたが、デフレ懸念が払拭しきれない状況から、期末近くまで長期金利の超低水準が続き、金利情勢は引き続き厳しいものでありました。

このような情勢に対処して、平成17年4月初めと平成18年2月末に運用利回りの向上を目的とした一部債券の買い替えを行い、これに伴う運用利回りの向上と有価証券売却差益収入の発生により、運用収入は4億8千8百万円余と前年度比3千2百万円余（予算対比では3千1百万円余）増加しました。

一方支出面は、助成金支出をほぼ予算通りの3億4千5百万円余とし、助成金を除く経費を事業費、管理費合計で9千8百万円余（前年度比微減、予算比7百万円余減）にとどめた結果、期末の正味財産額は前年度比4千3百万円余増加して200億1千5百万円余となり、基金（受

取寄附金累計額)の200億円に1千5百万円余の剰余が生じた格好となりました。

資金面では、期中に手許資金で投資有価証券を1億円取得して「助成基金」に繰り入れ、繰越収支差額1億4千3百万円余を次期に繰越しました。

### (3) 平成17年度の助成

平成17年3月9日開催の理事会・評議員会で決定・承認された事業計画に基づいて、下記の助成を行いました。

#### (イ) 基礎科学研究助成

重要でありながら研究資金が不十分とされている基礎科学研究、とりわけ若手研究者による萌芽的研究に助成を行うもので、平成17年4月15日～6月末に公募したところ、応募件数で前年度比49件増の1,299件、助成申請金額で同1億円余増の36億1百万円余の応募がありました。

下記の12名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに7月23日及び9月20日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、95件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	西島和彦	仁科記念財団 理事長
選考委員	榎敏明	東京工業大学 教授
	鯉沼秀臣	物質・材料研究機構 理事
	小山勝二	京都大学 教授
	坂野仁	東京大学 教授
	佐野浩	奈良先端科学技術大学院大学 教授
	白井良明	立命館大学 教授
	樽茶清悟	東京大学 教授
	濱田博司	大阪大学 教授
	宮岡洋一	東京大学 教授
	村橋俊一	大阪大学 名誉教授
	渡邊公綱	産業技術総合研究所 生物情報解析研究センター長

選考委員会の選考結果に基づき、平成17年10月18日開催の理事会・評議員会において審議の結果、95件、助成金総額1億3千万円(事業計画通り)の助成対象を決定しました。採択者に対する助成金の交付は平成17年11月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

尚、期中に平成17年度の助成対象者より助成辞退の申し出が1件あり、受理しました。

#### (ロ) 環境研究助成

人類の直面している最大の問題の一つである環境問題に、研究助成という形で取り組んでいるもので、環境に関する様々な視点(人文・社会科学分野、自然科学分野)からの研

究に助成を行っています。

「一般研究」と「課題研究」（本年度募集課題：アジアを対象とする協働型環境研究の提案とその試行）について、平成17年4月15日～6月末に公募したところ、応募件数で前年度比27件増の608件（内課題研究同25件増の38件）、助成申請金額で同2億4千万円余増の19億9千万円余（内課題研究3億3千4百万円余）の応募がありました。

下記の7名の先生に選考委員を、1名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査並びに7月16日及び9月27日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、50件（内課題研究3件）の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	安井 至	国際連合大学 副学長
選考委員	岩坂泰信	金沢大学 教授
	植田和弘	京都大学 教授
	及川武久	筑波大学 教授
	但野利秋	東京農業大学 教授
	花木啓祐	東京大学 教授
	渡辺正孝	慶應義塾大学 教授
専門委員	高野裕久	国立環境研究所 環境健康研究領域 領域長

選考委員会の選考結果に基づき、平成17年10月18日開催の理事会・評議員会において審議の結果、一般研究47件、課題研究3件、助成金総額1億円（事業計画通り）の助成対象を決定しました。採択者に対する助成金の交付は平成17年11月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

#### （八）文化財維持・修復事業助成

「心の豊かさ」と「文化」を大切に、人類共通の財産である文化財を後世に継承するため、日本国内にある美術工芸品の維持・修復事業を対象として助成しているもので、平成17年10～11月に公募したところ、71件（前年度比5件減）、助成申請金額で1億6千7百万円余（同1百万円余減）の応募がありました。

下記の3名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに平成17年12月22日及び平成18年1月31日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、25件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	田邊三郎助	町田市立博物館 館長
	三輪嘉六	九州国立博物館 館長
	渡邊明義	前 東京文化財研究所 所長

選考委員会の選考結果に基づき、平成18年3月9日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の25件、助成金総額5千万円（事業計画通り）の助成対象を決定しました。採択者に対する助成金の交付は平成18年3月より行っております。

## (二) 海外の文化財維持・修復事業助成

上記(八)と同じ趣旨に加えて国際交流の観点から、海外にある文化財(美術工芸品及び遺跡)の維持・修復事業とその事前調査(維持・修復に直接つながるもの)を対象として助成しているもので、平成17年10～11月に公募したところ、13カ国(文化財の所在では18カ国)から24件(前年度比13件減)、助成申請金額で7千6百万円余(同2千万円余減)の応募がありました。

国内の文化財と同一の選考委員会で選考の上、平成18年3月9日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の10件、助成金総額2千万円余(事業計画比微増)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成18年3月より行っております。

## (ホ) アジア諸国における日本関連研究助成

国際相互理解増進の観点から、主に東アジアと東南アジア諸国における日本に関連する人文・社会科学分野の研究に対して助成を行っているもので、平成17年9～10月に公募したところ、15の国・地域から、235件(前年度比65件減)、助成申請金額で2億5千8百万円余(同1億1百万円余減)の応募がありました。

下記の2名の先生に選考委員を、9名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査及び平成18年2月3日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、58件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	加藤 剛	龍谷大学 教授
	小島 朋之	慶應義塾大学 教授
専門委員	伊藤 正子	大東文化大学 助教授
	岡本 正明	京都大学 助教授
	駒形 哲哉	慶應義塾大学 助教授
	小牧 輝夫	国土館大学 教授
	菅谷 成子	愛媛大学 助教授
	唐 亮	横浜市立大学 助教授
	信田 敏宏	国立民族学博物館 助手
	松田 康博	防衛研究所 主任研究員
	宮田 敏之	東京外国語大学 助教授

選考委員会の選考結果に基づき、平成18年3月9日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の58件、助成金総額4千万円余(事業計画比微増)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成18年3月より行っております。

(へ) その他助成

この助成プログラムは、理事会・評議員会の直接の決定により

本財団の将来のプログラム展開上、意義大と思われる研究及び事業に対する助成

緊急を要するもので本財団としての対応が必要と認められる研究及び事業に対する助成

事業計画に掲げた助成プログラムと関連し、これを補充、強化する研究及び事業に対する助成

等を行うもので、本年度は、平成17年3月9日、平成17年6月9日及び平成17年10月18日開催の理事会・評議員会において、添付資料記載の5件、5百万円余の助成対象を決定・承認しました。

助成金の交付は、助成決定後順次行っております。

2. 役員・評議員（平成18年3月31日現在）

(50音順)

役名	氏名	主たる職業	備考
会長 理事長 専務理事 理事	杉村 隆	国立がんセンター 名誉総長	新任
	住友吉左衛門	住友金属工業 技監	
	石川 睦夫	(常勤)兼 住友財団 事務局長	
	池端 雪浦	東京外国語大学 学長	
	石 弘光	中央大学 特任教授	
	奥 正之	三井住友銀行 頭取	
	奥田 碩	トヨタ自動車 会長	
	勝俣 恒久	東京電力 社長	
	熊谷 信昭	兵庫県立大学 学長	
	小林庄一郎	関西電力 顧問	
	佐々木 元	日本電気 会長	
	長尾 真	情報通信研究機構 理事長	
	西島 和彦	東京大学・京都大学 名誉教授	
	三浦 朱門	作家	
監事	宮崎 清文	日本交通福祉協会 会長	新任 新任
	吉川 弘之	産業技術総合研究所 理事長	
	吉野 泰生	住友生命保険 会長	
	高橋 温	住友信託銀行 会長	
	森田松太郎	A R I 研究所 理事長	
	渡邊 利夫	拓殖大学 学長	
	石川 忠雄	慶應義塾大学 名誉教授	
	植村 裕之	三井住友海上火災保険 社長	
	岡田 節人	京都大学 名誉教授	
	神谷 不二	慶應義塾大学 名誉教授	
	茅 陽一	東京大学 名誉教授	
	木村尚三郎	静岡文化芸術大学 学長	
	グレイリー・クラーク	国際教養大学 副学長	
	古在 由秀	国立天文台 名誉教授	
評議員	小林 俊一	東京農工大学 監事	新任
	下妻 博	住友金属工業 会長	
	高城申一郎	住友不動産 会長	
	田丸 謙二	東京大学 名誉教授	
	西原 春夫	早稲田大学 名誉教授	
	野依 良治	理化学研究所 理事長	
	平山 郁夫	日本美術院 理事長	
	福島 孝一	住友金属鉱山 社長	
	松本 正義	住友電気工業 社長	
	宮原 賢次	住友商事 会長	
	矢野 龍	住友林業 社長	
	山田 康之	奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授	
	米倉 弘昌	住友化学 社長	

役員・評議員共に任期は平成17年7月1日～平成19年6月30日です。

期中の異動

平成17年6月30日 任期満了により退任

理 事	高橋 温	(7月1日 監事に就任)
	西川 善文	
監 事	吉野 泰生	(7月1日 理事に就任)
評議員	出原 洋三	
	小田切康幸	
	河村 元雄	
	辻本 均	
	日納 義郎	
	藤井 總明	
	守谷 恒夫	

平成17年7月1日

新任（備考欄記載）の理事、監事、評議員就任  
理事の互選により会長、理事長、専務理事就任

3. 職 員（平成18年3月31日現在）

職 名	氏 名	任 用 年 月 日	担 当 業 務
事務局長	石川 睦夫	平成 3年 9月25日	全 般
総務部長	千種 信雄	平成17年 4月 1日	総 務 経 理
企画部 助成担当部長	水野 隆	平成13年 7月 2日	助 成 事 業
〃	粟田口和久	平成17年 2月 1日	〃
〃	中山 達弥	平成11年 4月 1日	〃
〃	佐藤 清貴	平成17年11月 1日	〃
総務部員	大場 純子	平成13年 3月21日	総 務 経 理
企画部員	関根 典子	平成18年 1月18日	助 成 事 業

期中の異動

総務部 総務部長	千種 信雄	平成17年 4月 1日任用
	田淵 雅彦	平成17年 3月31日退任
企画部 助成担当部長	佐藤 清貴	平成17年11月 1日任用
	野崎 正之	平成17年11月21日退任
企画部員	関根 典子	平成18年 1月18日任用
	三岳 祐子	平成17年 5月23日任用
		平成18年 1月31日退任
	横田 智子	平成17年 6月 3日退任

#### 4. 主要事業日誌

平成17年 4月15日～ 6月30日 「基礎科学研究助成」及び「環境研究助成」公募

6月 9日 第42回評議員会

理事及び監事（任期平成17年7月1日～平成19年6月30日）改選

平成16年度事業報告及び決算承認

平成17年度「その他助成」助成先（2件）承認

選考委員（平成17～18年度「文化財維持・修復事業助成」及び「海外の文化財維持・修復事業助成」1名、「アジア諸国における日本関連研究助成」2名）選任承認

6月 9日 第48回理事会

評議員（任期平成17年7月1日～平成19年6月30日）改選

平成16年度事業報告及び決算承認

平成17年度「その他助成」助成先（2件）決定

選考委員（平成17～18年度「文化財維持・修復事業助成」及び「海外の文化財維持・修復事業助成」1名、「アジア諸国における日本関連研究助成」2名）選任

7月 1日 第49回理事会

会長、理事長及び専務理事互選

7月16日「環境研究助成」第1回選考委員会

7月23日「基礎科学研究助成」第1回選考委員会

9月 1日～10月31日 「アジア諸国における日本関連研究助成」公募

9月20日「基礎科学研究助成」第2回選考委員会

9月27日「環境研究助成」第2回選考委員会

10月 1日～11月30日 「文化財維持・修復事業助成」公募

「海外の文化財維持・修復事業助成」公募

10月18日 第43回評議員会

平成17年度「基礎科学研究助成」助成先(95件)承認

” 「環境研究助成」助成先(50件)承認

平成18年度「環境研究助成」『課題研究』のテーマ承認

平成17年度「その他助成」助成先（2件）承認

10月18日 第50回理事会

平成17年度「基礎科学研究助成」助成先(95件)決定

” 「環境研究助成」助成先(50件)決定

平成18年度「環境研究助成」『課題研究』のテーマ決定

平成17年度「その他助成」助成先（2件）決定

12月22日「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」  
第1回選考委員会

平成18年 1月31日「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」  
第2回選考委員会

2月 3日「アジア諸国における日本関連研究助成」選考委員会

3月 9日 第44回評議員会

平成17年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(25件)承認

〃 「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(10件)承認

〃 「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先(58件)承認

平成17年度収支予算の補正承認

平成18年度事業計画及び収支予算承認

平成18年度「その他助成」助成先(2件)承認

選考委員(平成18～19年度「基礎科学研究助成」11名、「環境研究助成」  
6名)選任承認

3月 9日 第51回理事会

平成17年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(25件)決定

〃 「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(10件)決定

〃 「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先(58件)決定

平成17年度収支予算の補正決定

平成18年度事業計画及び収支予算決定

平成18年度「その他助成」助成先(2件)決定

選考委員(平成18～19年度「基礎科学研究助成」11名、「環境研究助成」  
6名)選任